


ご存知ですか？デング熱対策

デング熱は、デングウイルスに感染した蚊に刺されて感染する病気です。
 熱帯・亜熱帯の全域で流行しており、東南アジア、南アジア等で多く発生しています。
 昨年は約70年ぶりに国内での流行も生じ、160名が感染しました。
 様々な感染症を媒介する『蚊』に注意しましょう！

ヒトの対策【蚊に刺されるのを防ぐ】

- 流行地では、長そで・長ズボンを着用し、肌の露出を避けましょう。
- 有効な成分を含む虫よけ剤（ディート（DEET）を含むものは対象年齢や使用方法に注意）を適切に使用しましょう。日焼け止めと併用する際は日焼け止めの上からスプレーします。

蚊の対策【蚊の発生を防ぐ】

- 日本に生息するヒトスジシマカもデングウイルスを媒介し、5月～10月に活発に活動します。蚊の幼虫（ボウフラ）がいる水たまりをなくしましょう。（植木鉢の皿や雨ざらしのじょうろ、空き缶、雨水マス等小さな水たまり等によく発生）



感染管理認定看護師からの ワンポイント★アドバイス

□デング熱の症状は？

- ・蚊に刺された後、2～15日(多くは3～7日)に、突然の高熱や関節痛、筋肉痛、目の奥の痛み、全身のだるさ、発しんなどがみられます。

□経過と予後は？

- ・多くの場合、1週間程度で回復します。ごく稀に重症化し、出血やショック症状を呈するデング出血熱を起こすことがあります。

□自己診断はしないで！

- ・デング熱になると出血を止める働きをする血小板が減少し、内出血が起きやすくなります。
- ・市販もされているロキソニンやアスピリンなどの解熱剤は、さらに血小板の機能を低下させる作用があり、危険です。自己診断せず医療機関を受診しましょう！



ヒトスジシマカ (ヤブ蚊)

□どうやって感染する？

- ・デング熱はヒトからヒトへは感染しません。
- ・患者を刺した蚊がデング熱を媒介するため、症状がある患者は蚊に刺されないよう留意しましょう。

□ワクチンや治療法は？

- ・ワクチンはなく、治療は対症療法となります。

(公立丹南病院感染管理室 馬場みゆき室長)

もっと詳しく知りたい方は [デング熱Q&A](#)

検索

厚生労働省 HP をご覧ください。



【丹南健康福祉センターからのお知らせ】

- ◆野外では**マダニ類やツツガムシにもご注意ください。**肌の露出を避け、もし咬まれたら医療機関の受診を！
- ◆今年度も県では無料の風しん抗体検査事業（妊娠を希望する女性が対象）を実施しています。詳しくは福井県 HP [福井県風しん抗体検査](#) [検索](#) をご覧ください。

【担当課】 ご意見・ご要望はこちらへ↓
 福井県丹南健康福祉センター 地域保健課
 Tel (0778)51-0034 Fax (0778)51-7804
 E-mail t-fukusi-c@pref.fukui.lg.jp
 配信希望(停止)はメールでご連絡ください。